

「健やか親子 21（第 2 次）」における参考とする指標（抜粋）

○ 参考とする指標とは

- ・ 目標を設定しないが、今後も継続して経過を見ていく必要があるもの。
- ・ 現段階では目標を含めた指標化は困難であるが、「参考とする指標」として取組を促すものを含む。

（1）基盤課題 C 参考指標 2 「不慮の事故による死亡率（人口 10 万対）」

	H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	H30 年	R1 年
0 歳	7.8	8.1	7.5	8.1	7.0	9.0
1～4 歳	2.7	2.7	2.2	1.8	2.2	1.9
5～9 歳	1.9	1.7	1.3	1.2	1.5	1.1
10～14 歳	1.5	1.3	1.2	0.9	1.2	1.0
15～19 歳	5.3	4.8	5.1	3.9	4.1	3.6

（人口動態統計）

（2）基盤課題 C 参考指標 3 「事故防止対策を実施している市区町村の割合」

（平成 29 年度）

（1, 741 市区町村）

乳幼児健康診査の際の事故防止対策事業	市区町村数	%
①パンフレットの配布、健診会場のパネル展示・ビデオ放映などにより啓発している。	1,679	96.4%
②事故防止のための安全チェックリストを使用した普及啓発活動を行っている。	547	31.4%
③地域住民を広く対象とした健康教育を実施している。	149	8.6%
④子どもの親を対象とした健康教育を実施している	784	45.0%
⑤地域の子どもの事故発生状況を定期的に把握している。	139	8.0%
⑥部局を超えて、子どもの事故予防対策の視点で街づくりを検討し協議する場がある。	92	5.3%
⑦その他の事故防止対策	159	9.1%
⑧特に取り組みはしていない。	27	1.6%

（母子保健課調査）

（3）基盤課題 C 参考指標 4 「乳幼児のいる家庭で、風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないよう工夫した家庭の割合」（1 歳 6 か月健診にて把握：平成 29 年度）

H28 年度	H29 年度
45.1%	46.5%

（母子保健課調査）